

DENSO

株主のみなさまへ

第87期（2009年度）期末報告書 [2009年4月1日～2010年3月31日]



株式会社デンソー
(証券コード 6902)

株主のみなさまへ



株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

業績の概況および、当社の今後の取り組みについてご説明させていただきます。

2009年度の連結業績概況

当期の世界経済は、第2四半期以降、各国の経済政策やアジアの景気回復により、期末に向けて緩やかに持ち直しました。自動車業界においては、中国やインドを中心とする新興国では市場が回復したものの、米国や日本での自動車販売は、それぞれ前年割れ、前年並みとなり、新興国と先進国で明暗が分かれました。

このように市場の変化が激しい中、昨年度より中期的な重点方針を策定し、「事業体質のスリム化」と「次の成長に向けた体制作り」を2本柱として推進してまいりました。

「事業体質のスリム化」では、従来の固定費低減活動をさらに強化すべく、経費総点検活動による支出抑制や研究開発費・設備投資の削減、管理間接部門を中心とした業務効率化等の全社施策に、グループ丸となって取り組んでまいりました。この結果、対前期比では依然、減収ながら、着実な固定費削減効果により、黒字化することができました。

当期の業績は、売上高は2兆9,767億円と前期に比べて5.3%の減収となりました。経常利益については、主に固定費削減の効果により、1,527億円と前期に比べて1,880億円の増益、当期純利益は、734億円と前期に比べて1,575億円の増益となりました。地域別では、日本と欧州を除く地域で増収となり、全地域で増益となりました。

配当金については、これまでの業績推移と経営環境を踏まえ、期末配当金は1株当たり14円、年間では27円とさせていただきます。今後も株主のみなさまへの利益還元のため、一層の努力を重ねてまいります。

中期収益改善の取り組み

今後の自動車業界においては、米国経済の持ち直しや、中国・インドなど新興国市場の需要の伸びにより、世界市場全体としては緩やかに拡大するものの、日本や西欧では買換え補助金などの販売促進策の終了・縮小に

よる反動も予想されます。加えて、世界経済の不安定要因もあり、当社グループを取り巻く環境は引き続き厳しい状況にあります。

また市場ニーズは、燃費規制や環境意識の高まりにより、ハイブリッド車や電気自動車、従来型エンジンで燃費改善が見込めるアイドルストップなどへのシフトが加速していく一方、拡大する新興国市場では、安価なコンパクトカーを主流に今後も拡大していくことが予想されます。このような状況の中、「事業体質のスリム化」を定着させるとともに、来期は「次の成長に向けた体制作り」に軸足を置いてまいります。

今後、注力していく「次の成長に向けた体制作り」では、「燃費改善・CO₂削減に向けた技術革新」、「新興国市場への対応」を2本柱として、世界各地域のニーズに対応するための技術開発・体制づくりを進めてまいります。

■ 燃費改善・CO₂削減に向けた技術革新

自動車業界では、「小型軽量化・電動化・システム化」の動きが加速する中、当社では従来型エンジンからハイブリッド車・電気自動車に至る幅広い分野での開発を続けております。従来型エンジンの燃費向上に貢献するガソリン用直噴コンポーネントやディーゼル用コモンレールシステムの開発、燃費向上とスターターの始動性・耐久性向上を目指すアイドルストップシステムの開発、ハイブリッド車用製品の小型軽量化、熱・電力の最適な使われ方をクルマ全体で制御するエネルギーマネジメントに、特に力を入れて取り組んでおります。

これらの研究開発の成果により、日・米・欧州カーメーカーへのビジネスが拡大しつつあり、今後さらに取り組みを強化してまいります。

■ 新興国市場への対応

さらなる市場拡大が予想される新興国市場においてビジネスを拡大するため、全社横断のデンソープロジェクト室が中心となり、機能・性能・構造の適正化、地域に合った品質基準の設定、部品・材料の現地調達の検討を進め、競争力ある地域最適製品の開発を進めています。さらに、低コスト化技術開発を、現地発で提案できる体制・仕組みの整備もしてまいります。現在20製品を対象に、コスト半減を目標として、原価低減活動を加速し、30%低減まで積み上げることができました。コスト半減の実現に向けてさらに活動を続け、ビジネス拡大を目指してまいります。

来期は、次の成長に向けてリソースを割き、5年先・10年先を見据えた研究開発に注力し、事業の成長を加速したいと考えております。

さて、当社では昨年の12月16日に、おかげさまで創立60周年を迎えることができました。これもひとえに、株主の方々を始め、みなさまのご支援のおかげであると、心より感謝申し上げます。今後とも引きつぎ変わらぬご支援、ご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2010年6月
取締役社長

加藤宣明

トピックス

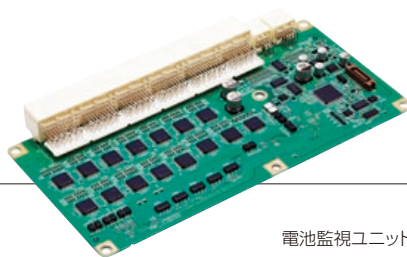
TOPICS 01

新製品／新技術

リチウムイオン電池用の電池監視ユニットを開発

昨年末、トヨタ自動車(株)が家庭用コンセントから充電できるプリウスのプラグインハイブリッド車を市場導入しました。

性能が良いリチウムイオン電池を搭載することで、電気自動車に近い走行が可能となり、大幅な燃費向上につながります。デンソーは、高電圧の電池を安全かつ効率的に使用

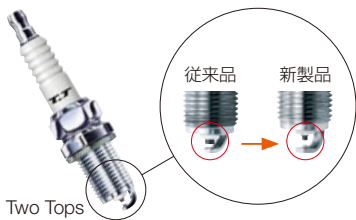


電池監視ユニット

するために、電池の電圧、電流、温度等を検出するリチウムイオン電池用の電池監視ユニットを開発し、搭載されました。

<http://www.denso.co.jp/ja/news/newsreleases/2010/100112-01.html>

省燃費スパーク(点火)プラグ「Two Tops」を発売



Two Tops

燃費向上とCO₂削減をリーズナブルな価格で実現した省燃費型ニッケル・スパークプラグ「Two Tops (ツー・トップス)」を発売しました。これ

は、火花を受ける接地電極に、新たに凸形状を採用し、両凸構造にすることによって着実かつスムーズに着火することができます。2つの電極には、新たに開発したニッケル合金を使用することによって、価格上昇を抑えつつ、当社従来

型プラグに比べ、中心電極の直径を40%細くし、消炎作用^{*1}を抑制して着火性能を高め、クルマの燃費を1.2%、トルクを1.1%それぞれ向上させながら、CO₂排出量を0.8%低減^{*2}させることを可能にしました。

^{*1} スパークプラグの電極間で発生した火種が混合気を燃やしながらか成長する際、火種が電極に触れると、その熱を奪われ、着火性能が損なわれる現象のこと。

^{*2} 当社製の従来型ニッケル・スパークプラグとの比較。データは全て当社調べ。

<http://www.denso.co.jp/ja/news/newsreleases/2009/091224-03.html>

車載用プラズマクラスターイオン発生機／バス用プラズマクラスターイオン発生機を発売

全国のデンソー販売会社及びデンソーサービスステーションで、カップホルダーにおさまるコンパクトサイズの車載用プラズマクラスターイオン発生機の販売を開始しました。これは、シャープ株式会社の空中除菌技術である「プラズマク

ラスター^{*1}技術」と、デンソーが長年培ってきた車両搭載技術を用いて、車内に浮遊するウイルスの作用を抑え、浮遊カビ菌・アレル物質(ダニのふんや死がいなど)、付着したニオイを分解・除去します。

また、バスの大きさに応じて最適量のイオンを効率的に発生させることができ、既販車への後付けも可能なバス用プラズマクラスターイオン発生機も発売しました。

^{*1} プラズマクラスターおよび商品写真のプラズマクラスターマークはシャープ(株)の商標登録です。



車載用プラズマクラスターイオン発生機



バス用プラズマクラスターイオン発生機

<http://www.denso.co.jp/ja/news/newsreleases/2009/091124-01.html>

<http://www.denso.co.jp/ja/news/newsreleases/2010/100215-01.html>

生産体制の強化

モロッコにエアコンの生産会社を設立

アフリカ モロッコ王国北部にあるタンジール市に、カーエアコンを生産する新会社デンソー・サマルシステムズ・モロッコ社を設立します。2011年4月に工場を完成させ、同年12月から生産を開始します。新会社は、アフリカにおける当社の2番目の生産拠点として、カーメーカーのアフリカの工場へカーエアコンを供給していきます。

 <http://www.denso.co.jp/ja/news/newsreleases/2010/100323-01.html>

デンソー東日本が工場建設を決定

デンソーが100%出資する株式会社デンソー東日本(福島県田村市)の2011年5月の操業開始に向け、工場建設を決定しました。デンソー東日本は、カーエアコンなどを生産する新会社として2008年4月に設立されましたが、同年秋以降の急激な景気後退に伴う自動車生産の減少により、事業の見通しが不透明になったことから工場建設および操業開始を延期していました。

 <http://www.denso.co.jp/ja/news/newsreleases/2010/100121-01.html>

ブラジルの生産拠点で新工場を建設

ブラジルの生産拠点でカーエアコンやバスエアコン、ラジエータなどを製造販売しているデンソー・ド・ブラジル・リミターダの新工場を建設します。新工場は、2011年1月に生産を開始する予定です。ブラジルでは、今後自動車需要の拡大が見込まれており、既存製品の拡販と新たな製品の受注に向けた生産能力の増強のために必要なスペースが確保できる新工場を建設します。



 <http://www.denso.co.jp/ja/news/newsreleases/2010/100316-01.html>

省エネ大賞(組織部門)で経済産業大臣賞を受賞



省エネ大賞組織部門「経済産業大臣賞」を受賞

経済産業省が主催する省エネ大賞の組織部門において、経済産業大臣賞を受賞しました。これは、省エネルギーの推進に貢献した個人およびグループ、工場、企業等に与えられるものです。当社は、省エネルギー活動を最優先活動と位置づけ、全社一丸となり取り組んでいます。目に見えないエネルギーのムダにもメスを入れて、必要なときに必要なだけエネルギーを供給する「エネルギー ジャスト・イン・タイム」を実現したことなど、生産設備づくりにおける省エネ技術が高く評価され、今回の受賞となりました。

<http://www.denso.co.jp/ja/news/newsreleases/2010/100210-01.html>

経済産業省が主催する省エネ大賞の組織部門において、経済産業大臣賞を受賞しました。これは、省エネルギーの推進に貢献した個人およびグループ、工場、企業等に与えられるものです。当社は、

CSR絵本を発行し、小学生に当社活動を紹介

当社のCSR活動を簡潔に分かりやすくまとめたCSR絵本を発行し、愛知県刈谷市の小学5年生を対象として、当社のCSR活動についての説明会と総合展示ホール「デンソーギャラリー」の見学会を実施しました。



「デンソーギャラリー」の見学会

CSR絵本
「デンソーのしあわせづくり」

COLUMN 創立60周年

2009年12月16日(水)に、当社は60周年を迎えました。この60周年を機会に、創業からの歩みを振り返り、次の成長にチャレンジする機運を高めるとともに、これまで当社を支えていただいたみなさまに謝意を表し、さまざまな地域で社会貢献活動を行いました。さらに、社員全員が一致団結して元気に挑戦するというコンセプトで、全社スポーツ大会や社内ギネス記録大会も行われました。また、社員有志160人以上がプロジェクトメンバーとなり、約1年半かけて60年前に開発・生産されていた電気自動車「DENSO号」の再生に挑戦しました。



再生されたDENSO号



地域の清掃活動



主要製品一覧と主な得意先

事業区分および主要製品

自動車分野

事業区分	主要製品
熱機器  エアコンユニット	冷暖房：カーエアコンシステム 冷却機器：ラジエータ、冷却ファン、インタークーラ、オイルクーラ、エンジンクーリングモジュール、リザーブタンク 空調冷熱：バス・農建機用エアコン、トラック用冷凍機、空気清浄器
パワトレイン機器  コモンレールシステム	エンジン機器：点火コイル、マグネット、点火プラグ、グロープラグ、排気センサ、モノリス、DPF、二輪車用エンジン制御コンピュータ 機能品：各種バルブ（EGRバルブ、A/Tコントロールバルブ、A/Tソレノイドバルブ 他）、キャピスタ、ノックセンサ、アクセルセンサ、VCT、スロットルボデー、エアフロメータ、オイルフィルタ、エアクリーナ、吸気モジュール、シフトバイワイヤアクチュエータ、ホーン ディーゼル噴射：コモンレールシステム、列型・分配型ポンプ、フューエルフィルタ ガソリン噴射：フューエルポンプ、フューエルポンプモジュール、インジェクタ、直噴用部品（インジェクタ、ポンプ）
情報安全  コンピネーションメータ カーナビゲーションシステム	ボデー機器：コンピネーションメータ、エアコンパネル、スマートキー、キーレスエントリー、ワイヤレスドアロックコントローラ、バック&コーナソナー、セキュリティシステム、ボデーコンピュータ ITS：カーナビゲーションシステム、ETC車載器、データ通信モジュール 走行安全：エアバッグ用各種センサ&コンピュータ、ABS/ESC用アクチュエータ&コンピュータ、車間制御用レーザレータ&コンピュータ、レーンキープアシスト用画像センサ&コンピュータ、ディスプレイランプ用パラスト、ヘッドランプコントロールシステム用コンピュータ
電気機器  オルタネータ インバータ	電機：スタータ、オルタネータ EHV：インバータ、DC-DCコンバータ、電池監視ユニット 電気制御：電動パワーステアリング用センサ&コンピュータ
電子機器  エンジン制御コンピュータ	電子：エンジン制御コンピュータ、トランスミッション制御コンピュータ、パワーマネジメントコンピュータ デバイス：各種半導体センサ、IC、パワーモジュール、ELディスプレイ リレー
モータ  ワイパシステム	ワイパシステム、ウォッシュシステム、パワーウィンドモータ、パワーシートモータ、スライドドア用モータ、パワーステアリングモータ、エンジン制御用モータ、他各種モータ

新事業分野

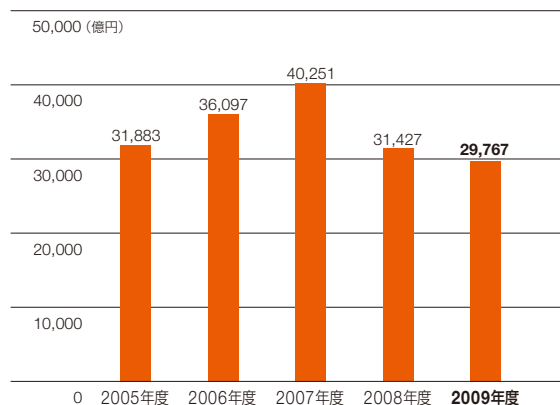
事業区分	主要製品
産業機器  産業用ロボット	自動認識関連製品：バーコードハンディスキャナ&/ハンディターミナル、QRコードスキャナ&/ハンディターミナル、ICカードリーダ&ライタ、RFIDリーダ&ライタ FA関連製品：各種ロボット、プログラマブルコントローラ 冷却・空調関係製品：機器用冷却器（携帯電話基地局用、コンピュータ用など）、灯油エアコン、スロットクーラ&ヒータ
生活関連機器  自然冷媒（CO ₂ ）ヒートポンプ式給湯機	自然冷媒（CO ₂ ）ヒートポンプ式給湯機、自動水栓

主な得意先

国内	トヨタ自動車(株)、本田技研工業(株)、ダイハツ工業(株)、スズキ(株)、富士重工業(株)、マツダ(株)、いすゞ自動車(株)、三菱自動車工業(株)、日野自動車(株) 他
海外	フィアット、GM、フォード、クライスラー、現代・起亜自動車、フォルクスワーゲン・アウディ 他

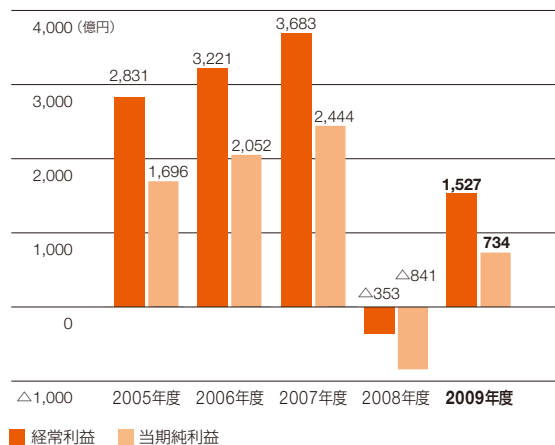
連結業績の推移

売上高



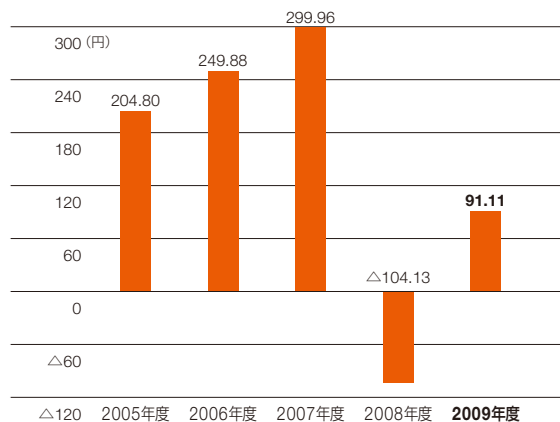
2009年度の売上高は、新興国では市場が順調に回復したものの、大幅な円高にとまなう為替差損などにより、前期より1,660億円減少しました。

経常利益・当期純利益

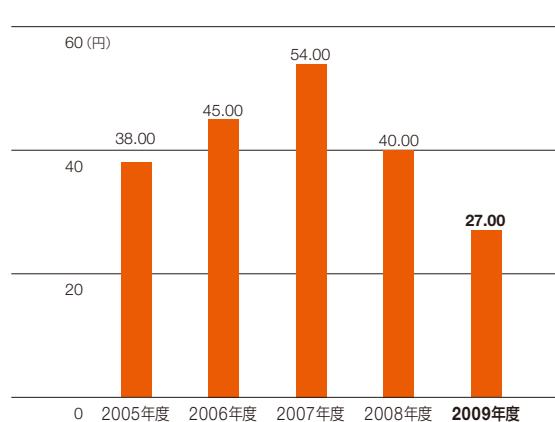


2009年度の経常利益は、売上の減少による操業度差損があるものの、固定費削減の効果により、前期の353億円の損失に対して、1,527億円の利益となりました。

1株当たり当期純利益

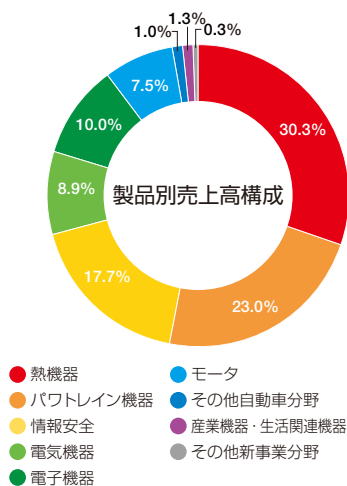


1株当たり配当金



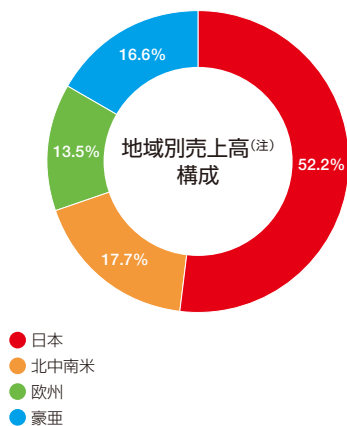
セグメント情報

製品別売上高



	2009年度		2008年度		増減率 (%)
	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)	
自動車分野					
熱機器	901,748	30.3	1,006,914	32.0	△10.4
パワトレイン機器	684,375	23.0	741,873	23.6	△7.8
情報安全	526,818	17.7	471,432	15.0	11.7
電気機器	265,811	8.9	293,647	9.3	△9.5
電子機器	297,321	10.0	272,909	8.7	8.9
モータ	222,458	7.5	218,339	7.0	1.9
その他	29,171	1.0	37,634	1.2	△22.5
小計	2,927,702	98.4	3,042,748	96.8	△3.8
新事業分野					
産業機器・生活関連機器	40,017	1.3	52,815	1.7	△24.2
その他	8,990	0.3	47,102	1.5	△80.9
小計	49,007	1.6	99,917	3.2	△51.0
合計	2,976,709	100.0	3,142,665	100.0	△5.3

地域別(当社グループの所在地別)売上高



	2009年度		2008年度		増減率 (%)
	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)	
日本					
外部顧客に対する売上高	1,553,492	52.2	1,667,990	53.1	-
地域間の内部売上高	487,823	-	477,646	-	-
計	2,041,315	-	2,145,636	-	△4.9
北中南米					
外部顧客に対する売上高	526,654	17.7	554,213	17.6	-
地域間の内部売上高	5,517	-	5,554	-	-
計	532,171	-	559,767	-	△4.9
欧州					
外部顧客に対する売上高	401,967	13.5	451,626	14.4	-
地域間の内部売上高	9,116	-	10,858	-	-
計	411,083	-	462,484	-	△11.1
豪亜					
外部顧客に対する売上高	494,596	16.6	468,836	14.9	-
地域間の内部売上高	39,510	-	38,847	-	-
計	534,106	-	507,683	-	5.2
消去 (地域間の内部売上高の合計)	△541,966	-	△532,905	-	-
連結	2,976,709	100.0	3,142,665	100.0	△5.3

(注)外部顧客に対する売上高

株主のみならずまへ

トピックス

主要製品一覧と主な得意先

連結業績の推移

セグメント情報

連結財務諸表

株式の状況
会社の概要

連結財務諸表

連結貸借対照表 (単位: 百万円)

科目	2009年度末	2008年度末	科目	2009年度末	2008年度末
資産の部			負債の部		
流動資産	1,755,122	1,266,802	流動負債	761,752	608,065
現金及び預金	574,582	386,177	支払手形及び買掛金	422,997	281,734
受取手形及び売掛金	564,028	369,587	短期借入金	45,527	50,517
有価証券	208,422	107,842	その他の流動負債	293,228	275,814
たな卸資産	266,264	255,526	固定負債	570,054	509,654
その他の流動資産	141,826	147,670	社債	190,000	150,173
固定資産	1,608,948	1,751,636	長期借入金	173,931	155,867
有形固定資産	902,700	1,034,633	その他の固定負債	206,123	203,614
建物及び構築物(純額)	246,614	260,534	負債合計	1,331,806	1,117,719
機械装置及び運搬具(純額)	396,486	469,915	純資産の部		
その他の有形固定資産(純額)	259,600	304,184	株主資本	1,882,557	1,829,978
無形固定資産	17,678	19,959	資本金	187,457	187,457
投資その他の資産	688,570	697,044	資本剰余金	266,610	266,635
資産合計	3,364,070	3,018,438	利益剰余金	1,626,988	1,574,515
			自己株式	△198,498	△198,629
			評価・換算差額等	34,022	△40,277
			その他有価証券評価差額金	154,178	89,000
			繰延ヘッジ損益	161	△270
			為替換算調整勘定	△120,317	△129,007
			新株予約権	2,750	1,852
			少数株主持分	112,935	109,166
			純資産合計	2,032,264	1,900,719
			負債純資産合計	3,364,070	3,018,438

連結損益計算書 (単位: 百万円)

科目	2009年度	2008年度
売上高	2,976,709	3,142,665
売上原価	2,559,993	2,850,990
売上総利益	416,716	291,675
販売費及び一般管理費	280,076	328,984
営業利益又は営業損失(△)	136,640	△37,309
営業外収益	34,446	35,718
受取利息配当金	12,110	24,420
その他	22,336	11,298
営業外費用	18,414	33,736
支払利息	5,936	5,593
その他	12,478	28,143
経常利益又は経常損失(△)	152,672	△35,327
特別利益	-	2,990
特別損失	5,759	66,946
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	146,913	△99,283
法人税、住民税及び事業税	29,336	20,721
過年度法人税等	-	7,231
法人税等調整額	38,266	△47,798
少数株主利益	5,884	4,648
当期純利益又は当期純損失(△)	73,427	△84,085

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位: 百万円)

科目	2009年度	2008年度
営業活動によるキャッシュ・フロー	357,141	209,915
投資活動によるキャッシュ・フロー	△155,115	△234,306
財務活動によるキャッシュ・フロー	29,153	90,326
現金及び現金同等物に係る換算差額	56	△24,135
現金及び現金同等物の増減額	231,235	41,800
現金及び現金同等物の期首残高	450,490	408,675
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	15
現金及び現金同等物の期末残高	681,725	450,490

株式の状況 (2010年3月31日現在)

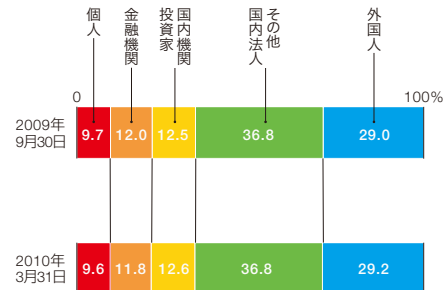
発行可能株式総数	1,500,000,000 株
発行済株式総数	884,068,713 株
株主数	76,848 名

大株主 (上位10名)

大株主名	持株数(千株)	議決権比率(%)
トヨタ自動車株式会社	199,254	24.74
株式会社豊田自動織機	69,373	8.61
ロバートボッシュ インベストメント ネーデルランドビーブイ	46,439	5.77
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	31,676	3.93
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	29,796	3.70
日本生命保険相互会社	24,050	2.99
デンソー従業員持株制度会	16,383	2.03
三井住友海上火災保険株式会社	15,148	1.88
第一生命保険相互会社	9,000	1.12
ザチエース マンハッタンバンク 385036	8,154	1.01

注)当社は自己株式78,135千株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。

株式保有者別分布状況 (議決権比率、%)



会社の概要 (2010年3月31日現在)

会社データ

社名	株式会社デンソー
英文社名	DENSO CORPORATION
本社所在地	〒448-8661 愛知県刈谷市昭和町1-1 電話 0566-25-5511(案内)
設立年月日	1949年12月16日
資本金	1,874億円
従業員数(連結)	120,812名(就業員ベース)

監査役

常勤監査役	渡辺 敏男
常勤監査役	岩瀬 正人
監査役	張 富士夫*
監査役	岸田 民樹*
監査役	齋藤 勉* *社外監査役

常務役員

西村 繁広	湯川 晃宏	豊田 達也
根井 也寸志	伊藤 正彦	村上 幸彦
Manfredo Nicoelli	阪 好弘	伊奈 博之
榎野 孝和	加藤 俊行	桑村 信吾
田島 明雄	白井 定広	加藤 之啓
山中 康司	関口 克己	藤谷 一明
安達 美智雄	村山 浩之	都築 昇司
若林 宏之	田坂 仁志	加藤 良文
山田 昇	有馬 浩二	
岩田 悟志	下川 勝久	

役員 (2010年6月25日現在)

取締役

取締役会長	深谷 紘一	専務取締役	白崎 慎二
取締役社長	加藤 宣明	専務取締役	柵木 充彦
取締役副社長	徳田 寛	専務取締役	宮木 正彦
取締役副社長	小林 耕士	専務取締役	鹿村 秋男
専務取締役	広中 和雄	専務取締役	丸山 晴也
専務取締役	土屋 総二郎	取締役	豊田 章一郎
専務取締役	杉 光		

株主メモ

事業年度：4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会：6月
配当金支払い：3月31日
株主確定日：なお、中間配当を実施する場合は9月30日です。
単元株式数：100株
証券コード：6902
株主名簿管理人：三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座管理機関：三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先：三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
電話 0120-232-711(通話料無料)

株式会社 デンソー

〒448-8661 愛知県刈谷市昭和町1丁目1番地
TEL.0566-25-5511(案内)
www.denso.co.jp

株式に関するお手続きについて

株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
なお、特別口座に口座をお持ちの株主さまの各種お手続きにつきましては、特別口座管理機関である三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。

◎ 証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先
・ 支払期間経過後の配当金に関するご照会 ・ 株式事務に関する一般的なお問い合わせ	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711(通話料無料)
・ 上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。

◎ 特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先
・ 特別口座から一般口座への振替請求 ・ 単元未満株式の買取(買増)請求 ・ 住所・氏名等のご変更 ・ 特別口座の残高照会 ・ 配当金の受領方法の指定(*) ・ 支払期間経過後の配当金に関するご照会 ・ 株式事務に関する一般的なお問い合わせ	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711(通話料無料) [お手続き書類のご請求方法] ◎ 音声自動応答電話によるご請求 0120-244-479(通話料無料) ◎ インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/

<表紙について>

省燃費型ニッケル・スパークプラグ「TwoTops」をモチーフにしています。詳細は、3ページをご覧ください。



(*) 特別口座に記録された株式をご所有の株主さまは、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。